



公明党  
三上 裕久

### 地域医療における市立病院の役割について

**質問** 医師法の改正により医師不足対策に関する北海道の役割が強化されたが、このことによって滝川市立病院の医師不足は解消されると考えるのかを伺う。

**答弁** 地域の医師不足が解消されることを期待していますが、当院においては医師の働き方改革などにより医師不足に拍車がかかることが想定されることから、引き続き、道内3医育大学と連携を強め、医師招へいに努めたいと考えています。

**質問** 市長が考える市立病院の役割と地域医療を守ることは、具体的にどのように実現しようとしているのかを伺う。人口減少が進む中、中空知にある自治体病院がこの先、共倒れすることのないよう滝川市立病院を核とした経営統合を見据えた連携を図るべきと考えますが、併せて伺う。

**答弁** 平成31年度からコンサルタ

ント会社を活用し、病院の経営診断を行い経営計画の見直しに取り組みますが、中長期的な視点で中空知の中核病院として国や北海道の協力をいただきながらこの地域の医療を守りたいと考えています。

### 地方創生のこれまでの取り組みについて

**質問** 地方創生の目的は、東京の一極集中を解消し、地方の人口減少に歯止めをかけ、地方を活性化するとともに若者の雇用を生み、地元定着を図るというものであったが、これまでの成果について伺う。

**答弁** 新たな事業の創出を目的に(株)夕張ツムラ、(株)マツオなどの取り組みや地域資源を生かした住宅取得支援など、着実に基本目標に掲げたものが進んできています。

**質問** 総合戦略計画の最終5年目を迎える平成31年度、市長の考えを伺う。

**答弁** これまでの目標達成の進捗状況などを検証、整理するとともに、大きな課題である人口減少問題については引き続き取り組み、総合戦略の改定を含め、次につなげていきたいと考えています。



会派みどり  
小野 保之

### 中央老人福祉センターについて

**質問** 現施設の老朽化が深刻だが、市内の23老人クラブ、約800人の会員が健康で元気に活動、交流し地域の活性化や子どもたちの健全育成にもつながっている。この老人クラブの重要性は理解されているのか。市は施設の維持管理などの問題でほかの施設との集約、複合化を検討すると言われているが、中央老人福祉センターの今後の方針を伺う。

**答弁** 老人クラブ活動として社会参加や生きがいづくり、介護予防など、地域の活性化や子どもたちの健全育成につながる活動が行われ、市としても力を入れて取り組んでいます。単身高齢者世帯や認知症の増加に伴う地域の見守り活動など、さまざまな施策において老人クラブは重要な役割を担っていただいています。指定管理者である、滝川市老人クラブ連合会との協議を重ねた結果、施設の廃止

も視野に入れ、ボランティアセンターを有し、また、地域との関わりの深い滝川市社会福祉協議会への事務局移転など老人クラブ活動の活性化につなげたいという方向での議論を行っているところです。

### 文化センターについて

**質問** 大ホールのステージは、老朽化による傷みが目立ち利用者から苦情の声がある中、一向に改善が見られない。予算が厳しいのは理解するが、利用者の中には使用前に床にサンドペーパーをかけ準備するなど苦勞しているようです。利用者の立場に立った検討が早急に必要と思うが、考えを伺う。

**答弁** 文化センターは、設備を含め老朽化が進んでおり、限られた財源の中で優先度の高い順に維持修繕を計画的に実施しています。ステージは、大ホールの根幹部分でもあり特殊性を鑑み、改修方法などについて専門業者と現地確認を行いながら打ち合わせを重ね適切な手法を検討しています。今後の施設の方向性にも関わる事案であり、施設全体の優先度を含め協議を進めたいと考えています。